

# 豪州 -通貨安志向は示されず-

## ＜政策金利据え置き、通貨高をけん制＞

オーストラリア準備銀行（以下、RBA）は4月5日、政策理事会を開催し、政策金利を2.00%で据え置くことを決定しました。

声明文では、前回3月の声明文同様、政策金利をしばらく据え置く可能性が示唆されるとともに低インフレが続くようであれば、追加金融緩和を行う可能性に言及しています。また、現在の通貨高は豪ドル安を背景として景気が改善していくことを複雑化させる可能性があるとして指摘しました。

## ＜豪ドルの推移＞

3月は豪ドルは対米ドル、対円ともに堅調に推移しました。資源価格が上昇傾向だったことに加えて、米国の利上げペースがこれまで想定していたよりも緩やかになるとの見方が広がったことから、豪ドルを含む資源国通貨が買われました。また、3月のFOMCではこれまで年4回の利上げとされていたFOMC参加者の政策金利見通しが年2回に引き下げられたため、米ドルが独歩安となり、豪ドルは対米ドルで堅調に推移しました。

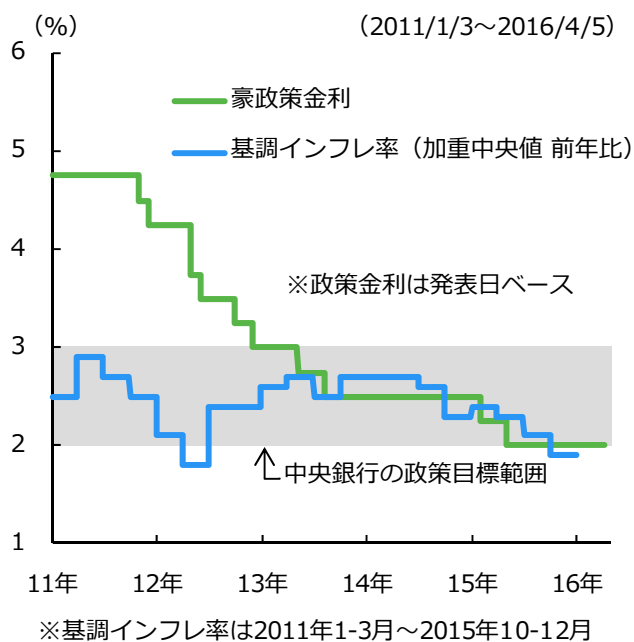
本日のRBAの政策金利据え置き及び声明文を受けて豪ドルは反発しています。声明文での豪ドル高に対するコメントが一部で予想されていたよりも穏便な内容となったことが背景にある模様です。東京時間午後2時現在、1豪ドル=0.7613米ドル、1豪ドル=84.41円となっています。

## ＜今後の見通し＞

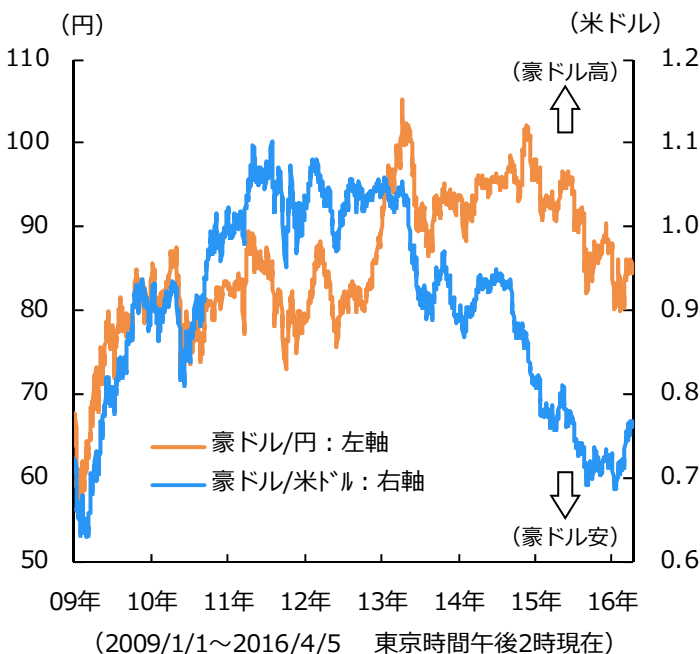
オーストラリアの主力輸出品目である鉄鉱石の価格は昨年12月以降、上昇傾向が続いています。また、オーストラリアの最大の輸出先である中国の景気は財政政策などを背景にソフトランディングが予想されます。加えて、米国の利上げペースが緩やかになる可能性が増しており、これらが豪ドルの支援材料となっています。

RBAが追加金融緩和の可能性を示唆している事には留意が必要ですが、RBAの利下げが実施されても日本とオーストラリアの金利差はある程度保たれる見込みです。前述の外部環境や日豪の金利差を背景に豪ドル円は底堅い推移が続くと予想します。

## ＜政策金利とインフレ率の推移＞



## ＜豪ドルの推移＞



出所：Bloomberg

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会